

第 99 回二科展 巡回展（大阪展）



▲大阪市立美術館

■ 二科巡回大阪展は 10 月 29 日～11 月 9 日まで大阪天王寺公園内の大阪市立美術館で開催しました。

出品数は絵画 192 点、彫刻 17 点デザイン 212 点、写真 224 点の総数 645 点の展示。

■ 日本一高層ビル・あべのハルカスが出来た美術館周辺の環境が変化しつつある大阪の街。どの展覧会も入場者が増加しない中で、共催の産経新聞社はもとより、NHK 大阪放送局による取材、報道は前年度を上回る来館者増に繋がり反響がありました。



▲大阪市立美術館近辺（通天閣）



▲大阪市立美術館近辺（あべのハルカス）

■ 会期中、宮崎支部、神奈川支部といった、遠方からの先生方にもご来場戴きました。恒例行事の一つとなった、二科展へ出品をめざす方へのワンポイントアドバイスも定着。関西から一人でも多くの個性ある作家が出てくることを願っています。

▼ 絵画部展示会場▼



■ 今回の彫刻部展示点数は 17 点。

全国巡回作品 9 点、関西支部関係点数 8 点（会員 2、会友 3、一般 3）でした。

かつては、30 数点を数えた展示点数を思えば、近年の様子は寂しい感もあります。しかし、このような傾向は二科彫刻部のみだけではなく、他の団体彫刻部でも同様の悩みを抱えているようです。そこで、我々会員に課せられている事は、個々の作品の質を高め、良い仕事を見せる事だと感じています。

そんな中、会友の本多紀朗君の『起』に込められた感性、そして特選と会友推挙のダブル受賞で、次回からは二科会の会友として活躍が期待されている吉田朋世さんの『吠えるもの』は、大阪展の空間を引き締めていました。この二人の若手の仕事ぶりを、鑑賞者の皆様の厳しくも温かい眼で、注目して欲しいものです。少人数の集団でも「ピリリ」とした緊張感を持って、ひとりひとりが、今一度彫刻の原点を見つめたいものです。（文責：彫刻部会員 橋本和明）

▼ 彫刻部展示会場▼



■ デザイン部は基本的に A 部門=自由テーマ・ポスター (B1 サイズ)、B 部門=自由テーマ・イラスト (B2)、C 部門=特別テーマ・ユニセフの活動として子どもの権利条約 25 周年ポスター (B1)、D 部門=マルチグラフィック (B2) の四部門で構成されています。

展示については、全国巡回作品 152 点 (一般 90 点・会友 19 点・会員 43 点) をベースに、関西地区出品作品 60 点 (一般 33 点・会友 11 点・会員 16 点) の計 21 点を展示しました。

また、デザイン部の展示会場では、今回 12 回目を迎えたポストカードデザイン大賞展を併設展示しました。このポストカード展は、発足当時、関西地区の出品者が中心でしたが、現在では北から南まで、全国各地から出品していただけるようになりました。それを機に名称を第 12 回全国ポストカードデザイン大賞として募集しました。応募作品数は昨年と同様、約 2,000 点で、入選作品 200 点 (受賞は一般・学生合わせて 14 点) を選出・展示しました。二科展最終日には、ポストカードデザイン大賞展表彰式を学生の部・一般の部に分けて行い、一人ひとりの名前を読み上げて入選状を手渡しました。表彰式終了後、ポストカード展示会場にて、デザイン部会員によるワンポイントアドバイスを今年から行いました。熱心な出品者や観覧者等の質疑応答で熱気にあふれ、大変効果的であったと実感しています。後日、出品者から感謝を込めた礼状が届く等、出品者の関心の高さを改めて認識しました。

デザイン部では、ポストカードという比較的取り組み易い小サイズの作品から、アートやデザインに関わって行きやすい環境を創り、最終的には二科展に出品を勧められるよう、期待を込めて活動して行きたいと考えています。 (二科会デザイン部関西地区事務局/田野)



◀ デザイン部展示会場

▼ 写真部展示会場

■ 写真部は毎年 224 点の作品を展示しています。

全国から応募された 18000 点の中より選ばれた入賞作品を 40 数点と関西地区の大阪、兵庫、奈良、和歌山の入選作品、関西地区 2 府 4 県の会員会友作品、全国会友の中から選出した作品などで構成しています。

内容としては多種多様のモチーフがハイレベルに表現されており、ご観覧の皆様には喜んで頂けるものと自負しています。また、会期中の土、日、月曜以外の平日に会場内にてギャラリートークを行いますので、ぜひお越し下さるようお待ちしております。



◀ 会期中に開催された
ミニコンサート風景



◀ 巡回展と同時開催の
こども二科展示会場